

シラス船びき網漁獲物におけるイワシ類稚仔魚の魚種組成

福島県水産海洋研究センター 漁場環境部

1 部門名

水産業—資源管理—シラス

2 担当者名

長沢 茜

3 要旨

福島県のシラス漁獲物の大部分はカタクチイワシの稚仔魚であるという前提に基づき、漁況予測技術の開発が進められてきた。シラスの魚種組成については池川（2017）により、緊急時環境放射線モニタリングのシラス検体中へのマイワシ、ウルメイワシの稚仔魚の混入が報告されている。カタクチイワシ以外の稚仔魚が優占するようなことがあれば、漁況予測技術の開発に影響が出ると考えられることから、魚種組成の把握を目的とし、2023年に水揚げされた漁獲物の調査を行った。結果、いわき地区で7月に採取したサンプルから極低い割合でウルメイワシの稚仔魚が確認されたのみで、他のサンプルからはマイワシ、ウルメイワシの稚仔魚は確認されなかった。この結果は池川(2017)の報告と同様の結果となった。

- 相馬地区、いわき地区において水揚げされたシラス漁獲物から月1回サンプルを採取し、カタクチイワシ、マイワシ、ウルメイワシの3種に選別して計数、全長の測定を行った。
- カタクチイワシの稚仔魚の全長は相馬地区で10.6mm~35.3mm、いわき地区で8.9mm~39.2mmであった。ウルメイワシの稚仔魚の全長は20.0~25.0mmであった(表1)。
- いわき地区で7月に1.9%のウルメイワシの稚仔魚の混入が確認されたが、その他のサンプルについてはマイワシ、ウルメイワシの稚仔魚の混入は確認されなかった(表1)。

表1 シラス漁獲物の全長範囲、個体数、魚種組成

地区	月	サンプルを 採取した隻数	全長範囲(mm)		個体数(尾)			魚種組成(%)		
			カタクチ	ウルメ	カタクチ	マイワシ	ウルメ	カタクチ	マイワシ	ウルメ
いわき	6月	1隻	12.1~39.2	-	134	0	0	100	0	0
	7月	1隻	8.9~38.7	20.0~25.0	764	0	15	98.1	0	1.9
	8月	4隻	23.6~38.2	-	216	0	0	100	0	0
相馬	7月	2隻	13.2~35.3	-	137	0	0	100	0	0
	8月	5隻	13.5~34.7	-	280	0	0	100	0	0
	9月	8隻	10.6~34.6	-	689	0	0	100	0	0
	11月	7隻	17.1~38.4	-	843	0	0	100	0	0

4 成果を得た課題名

- 研究期間 令和3~7年度
- 研究課題名 沿岸性浮魚の漁況予測技術の開発

5 主な参考文献・資料

- 池川正人, 平成29年度普及に移しうる成果「いわき地区におけるシラス3種の割合」